

(株)オータパブリケーションズ主催セミナー

「関西ホテル業界の近未来戦略が!!」

関西のホテル業界は、ここからさらなる躍進を遂げる。

昨年のアベノミクス以降、変わらぬ高稼働の中にあるホテル業界。IR 法案、2020 年の東京オリンピックなど、業界を後押しする明るい話題に囲まれる一方、インバウンドの獲得や MICE 誘致、現場ではレベニューコントロールによる客室単価の確保など案件が山積している。そんな状況の中で行なわれたセミナーには、それぞれのホテルが、現在の立ち位置、新たなソリューション、今後の戦略を認識する機会として多くの関係者が出席。今回本誌では、その内容をまとめてレポートする。



ベクトルを見つめ直す

5月29日、大阪・中之島リーガロイヤルホテルにて、弊社主催の「ホテルの企画・宿泊部門長～総支配人セミナー」が開催された。今回のセミナーは、さまざまな好条件に囲まれた昨今の業界において、改めてそれぞれの立ち位置を見つめ直してもらい、関西主要ホテルの経営者によるパネルディスカッションを通じて、新たなマーケティング戦略の理念創造を目的としており、ホテルの部門長・支配人を中心に総勢130人を超える業界関係者が会場に集まった。

全体で3部構成となったセミナー。第1部は週刊HOTERES専務取締役経営企画調査室長村上実による『業界の動向と本誌には書けないトレンド』、第2部は『経営サポートのための新戦略講座』と題し、CS向上、客室単価アップ施策をサプライヤー2社より提案。第3部は『関西マーケット近未来戦略』をテーマにしたパネルディスカッション。関西主要ホテルの経営者たちが熱い議論を交わした。

IR、オリンピック、法改正 好条件に囲まれた業界とその現状

「明るい材料にばかり目を向けるので



セミナーにて講演を行なう小社 専務取締役経営企画調査室長 村上実



(株)ロイヤルホテル
リーガロイヤルホテル(大阪)
田辺総支配人(パネリスト)

はなく、そこに耐えうる企業体質の構築と戦略作りを行なわなければならない」といったメッセージを込めて、第1部の講演は展開された。その内容は、オリンピックはもちろん、IR法案進行に伴うアセット関係の状況、直近に発表されたホテルオークラ東京の本館建て替えといった大枠の話から、現場レベルで行なわれるレベニューマネジメント、インバウンド誘致、そして料飲部門を取り上げ昨今のレストラン事情から施設における分煙の在り方など、経営者から実際にゲストを



(株)帝国ホテル
帝国ホテル 大阪
幸田総支配人(パネリスト)

もてなすスタッフまでを想定したものとなった。45分の短い内容ではあったが、普段専門誌の誌面では扱われない内容と、業界を俯瞰した立場から発信される情報に参加者は聞きいった。

客室内CS向上と単価アップ 新たな戦略導入が追い風となる

『経営サポートのための新戦略提案』として、サプライヤー2社より提案。まず客室内SPAトリートメントの推奨・提案を全国で展開する(株)クレドインターナショナル賀好春奈氏より「客室単価アップのための効果的手法」。客室内で行なう施術のメリットからそのニーズの高さ、評価などが資料を交えながら伝えられた。続いて客室内のCS向上をテーマに新たなソリューション提案を続けるブリッジ・モーシオン・トゥモロー(株)伊藤範幸氏が「客室



㈱近鉄ホテルシステムズ
大阪マリオット都ホテル
鳥居総支配人 (パネリスト)



クロスホテルズ(株)
クロスホテル大阪
後藤総支配人 (パネリスト)



スイスホテル大阪南海(株)
スイスホテル南海大阪
田中副総支配人 (パネリスト)

内のゲストサービスソリューション提案」]として、テレビスクリーンを利用した大手電機メーカーとの共同開発製品を紹介。宿泊システムとの連動によるゲストサービスの効率化や、緊急時におけるゲストの安全確保、迅速な避難誘導実現に関する内容が、プレゼンテーションを交え述べられた。

近未来戦略がここにある 主要ホテル経営陣パネル ディスカッション

セミナーの最後は『関西マーケット近未来戦略』をテーマにしたパネルディスカッション。関西を代表し、それぞれが特色を持つホテルから経営陣5名が参加した。ファシリテーターとして、第1部で講演を行なった村上が参加しディスカッションをリード。

冒頭それぞれのホテルの生い立ち、

稼働状況が質問され、Rev Per 戦略に話が及ぶ。高稼働の中、客室単価の上昇に対しどのような戦略と投資を行なうのか。続いて新規ホテル開業、インターナショナルホテルの増加に伴う影響や今後の予測などが問われた。話題がIRに関する期待値、そこに対するそれぞれのとらえ方、具体的な戦略の有無へ内容が進むと聴講者の姿勢が変わり、IRにおける主要ホテルの注目度の高さが改めて実証された。

後半は企業成長のコアとなる人材育成・確保についての議論。ホテルマンに求められる資質を挙げたのち、



㈱クレドインターナショナル 賀好春奈氏

現状のホテル人事における構図とキャリアが課題として挙げられた。その他、リーガロイヤルホテル(大阪)の建て替えやルームミックスと収益の整合性、格付けに対する意見がそれぞれ述べられ、最後は質疑応答の時間をもってセミナーの終了を迎えた。

多くの企業が参加したセミナー後の懇親会では、セミナーに引き続き業界向けソリューションの展示が行なわれ、交流の場、またビジネスの場としてにぎわった。懇親会では、14年3月に着任したばかりのザ・リッツ・カールトン大阪総支配人マーク・ハンデル



ブリッジ・モーション・トゥモロー(株) 伊藤範幸氏



乾杯の発声と今後の変わらぬ発展を語るリーガロイヤルホテル(大阪)田辺総支配人



懇親会参加者の前であいさつを行なう、ザ・リッツ・カールトン大阪マーク・ハンデル GM



弱みを強みへと変える演出空間が話題を呼んでいる(南)エルランド

氏がサプライズゲストとして登場し、参加者の前であいさつ。ホストホテルであるリーガロイヤルホテル(大阪)総支配人田辺氏とともに、大阪マーケットのさらなる発展を掲げた。



トップアスリートの眠りを支えるマットレスパッド「エアウィーヴ」を展示した株式会社エアウィーヴ



徹底した商品に対するこだわりと管理体制で高い評価を獲得している株式会社 fico (フィーコ)



ブライダルにたずさわる魅力的なパーティーグッズ、関連商品を提案する榎大阪堂



デジタルメディアを駆使し、情報発信を行なう(株)デジタル・アイ。今年7月には、新たなウエディング媒体「Lemon」を創刊する

